

# 武州みたけ

第五十七号

## 「紅葉且つ散る」

令和四年大河ドラマの舞台は鎌倉時代です。当社とも縁の深い畠山重忠公が登場します。愛馬を拒ぐ強力の印象とは一見異なる役者。果たして、如何描かれるのか。楽しみます。

(写真・文 服部朋也)